

【港 湾 部 門】

事業名 阿翁浦地区広域漁港整備事業（沖防波堤（A））
受賞機関 長崎県県北振興局
実施期間 平成20年4月30日～平成22年10月29日



〔事業概要と評価〕

阿翁浦漁港は、沿岸漁業のほか県内第一位のトラフグ養殖やマグロ養殖も行われるなど、県北地域屈指の漁港である。港内及び養殖水域での安全で効率的な作業環境を確保するための沖防波堤の整備に際して、海水交換機能を有し、長周期波浪に対して大きな消波効果を有する「内部水流振動型浮防波堤」を採用している。堤体の据付作業は、大型起重機船を使用し施工の安全と工期の短縮を図るとともに、周辺のトラフグ等の養殖場や定期船航路等との調整もあるため、地元との密な打ち合わせや細心の注意を払いつつ施工を行っている点も評価できる。

賛助会員：復建調査設計㈱長崎支社、三菱重工鉄構エンジニアリング㈱九州営業所

事業名 瀬良垣漁港整備事業
受賞機関 沖縄県恩納村
実施期間 平成13年度～平成22年度



全景

〔事業概要と評価〕

瀬良垣漁港が位置する恩納村は、村全域が「沖縄海岸国定公園」に指定されている。養殖漁業が盛んであるとともに、観光漁業体験も盛んである。漁業の更なる振興と漁業環境の改善を目的とした瀬良垣漁港の整備に際して、防波堤、護岸など外郭施設全てについて、自然石に模した造景岩工法、自然石である琉球石灰岩を用いた修景工法など、周辺の景観や水産生物の生息に配慮した工法を積極的に採用した点が評価できる。施工後4年経過した造景岩の防波堤の表面には貝類等の付着が確認されており、効果が確認できている点も評価できる。